

# 入曽地区中学校統廃合説明会報告

## 【対象：御狩場小学校保護者】

- 1 開催日時  
平成 25 年 1 月 19 日（土） 午後 2 時～午後 3 時 10 分
- 2 開催場所  
御狩場小学校 4 階視聴覚室
- 3 参加人数  
19 人
- 4 市職員（計 6 名）  
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校統廃合担当課長、学校統廃合担当主任  
学校教育参事兼教育指導課長、学務課長
- 5 配布資料
  - ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会の検討経過
  - ◆ 入曽地区の中学校を取り巻く状況
  - ◆ 統廃合に伴う学区の見直し案
  - ◆ 統廃合に伴う学区の見直し案（御狩場小関連）

### ————— 主な質疑応答及び意見要望 —————

- Q 統廃合する時期に期限はあるのか。
- A 文部科学省が平成 27 年度までに学校の耐震補強工事を完了させる方針を示しているため、遅くとも平成 28 年 4 月までには統合しなければならないと考えています。
- Q いまの御狩場小の高学年が統廃合の影響を受けるということか。
- A 今後の部会や検討協議会の協議にもよりますが、御狩場小の保護者からの要望を踏まえ、御狩場小出身の山王中もしくは入間野中の在校生については、統合しても中学校を移らなくていい選択もできる方向で検討しています。
- Q 統合しても一旦入学した中学校で卒業できるようにしてほしいが、兄弟姉妹が別々の中学になってしまっ行って行事が一つにまとまらなかったりするのは、親としては困る。
- A 狭山市の地域指定校外就学基準では、兄弟姉妹と同じ学校へ通学することを希望する場合は、その学校への就学を認めています。

Q ④案は、御狩場小の子を全員山王中に行くようにするのではなくて、山王中と入間野中に別れる今の形のままでいいのではないか。そうすれば、卒業して友達と別れ別れになるのは辛い、兄弟姉妹が別々の中学になる問題は解消される。

A 小学校と中学校の連携・接続の観点から、今回の統合を機に、できる限り同じ小学校から複数の中学校へ分散して進学することにならないよう配慮して学区を決めていきたいと教育委員会としては考えています。

Q 複数の中学校に分散しないようにするという事は、南小の子ども達が別れてしまう④案はないということか。

A ④案になる場合は、学校選択制を一部エリアに時限的に導入することも視野に入れていきます。

Q 提示されている四つの案の中で可能性が高いのは、どの案なのか。

A 現時点では何とも言えませんが、今後の学区部会の協議の中で決めていくことになります。

Q 通学の安全の観点からいえば、入間野中に行く方が良いと思われるが。

A 部会でも実際に歩いて調査をしていますが、通学の安全確保の視点は、学区を決める際の大きな判断材料になると思われます。

Q ③案では入間野中の教室数に余裕がなくなるが。

A 特別教室を普通教室に転用するなどして対応していきたいと考えています。

Q 東中の廃校に伴って、富士見小の一部の子が入間野中に入ることはあるのか。

A 富士見2丁目に住む子どもの一部が入間野中に通っている現状はありますが、富士見小に通う子どもの一部が入間野中に入るという形は考えていません。

Q 目の前に御狩場小があるのに入間野小に通っている子どもがいたりするが、もう少し個々の希望に対して柔軟に対応してもらうことはできないのか。

A 本来は学区の真ん中に学校が位置しているのが望ましいところですが、学校を設立する時に子どもの人数が少ないと学校運営が成り立たないですし、学区を決める際には、自治会区域や小中連携などの視点も加味する必要があります。そういったことを踏まえた結果として、現在の学区になっているものと思われます。

- ◆ ヤマダ電機の辺りから山王中までは距離があるため、周りが暗い中での帰宅など安全面が懸念される。
- ◆ 学年の途中で中学校が変わる場合、部活にしても新メンバーとして参加せざるをえないし、ユニフォームも新たにそろえる必要があったりするので、親としては避けたい。
- ◆ 受験を控えた思春期に途中で環境が変わるのは大きな負担だし、子ども自身も望んでいないと思うので、入学した中学校で卒業させてあげたい。
- ◆ 弟や妹が、みんなと一緒に同じ中学校に行きたいと言うのであれば、兄や姉と違う中学校であっても、親としては我慢するつもりではいる。
- ◆ 自分自身が子どもの時分に大人の都合で何度も学校を移らされて嫌な思いをした経験があるので、当時者である子ども達の気持ちを第一に考えてあげてほしい。
- ◆ みんなで同じ中学校に行ければ、小中連携もスムーズに進むと思う。
- ◆ 現状では御狩場小の子どもや保護者は、山王中に行っても入間野中に行っても少数派なので、何となく居場所がないといった声も耳にする。